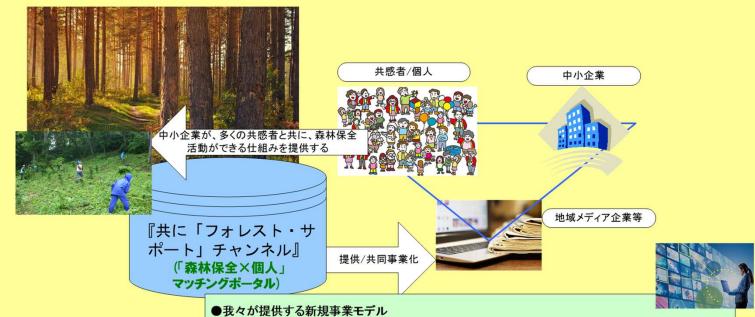
解決策は? 本モデルのコンセプト

現状の課題

一部の大手企業が、森林組合等に「寄付」など形で支援しているが、「人」「モノ」「金」等を投入できないほとんどの中小企業は、森林保全を支援できていない。

課題解決策(本モデルの価値)



・森林組合や大手一部の企業の「保全活動」に依存するのではなく、「中小企業」でも取り組めるよう、「一般人(共感者)」との「協働活動」を実現・支援するプラットフーム『共に「SDGs/フォレスト・サポート」チャンネル『システムを、

「情報収集」「情報発信」等の「ハブ」機能を持つ地域メディア企業と事業連携しながら、中小企業、共感者(緑、森林、自然に関心が高い一般人/コンシューマー)に提供することで、 森林保全・育成活動の推進を支援していく。

・収益構造としては、顧客企業が、当該プラットフォームへの登録を実施しやすいように、一般人を絡めた当該活動の企画から、社内体制の構築、広報、事後報告など、連続性を持った「業務フロー」ごとのサービスを用意しておき、その工程ごとに、事案受託を実現する。